

11/16
赤旗

駆け付け警護閣議決定

南スー・ダンPKO 「殺し殺される」危険 現実に

政府は15日、南スー・ダン閣議決定しました。従事する自衛隊は任務遂行に必要な武器使用が認められた。

○)に関し、今年3月に施行された安保法制=戦争法に基づく自衛隊初の任務として「駆け付け警護」を盛り込んだ実施計画の変更を

②・抗議の声⑩面

交代する12月12日に新任 織 関係者の要請を受

国部隊と連携してやる「共同防護」の任務も付与されます。

政府が発表した「新任務付与に関する基本的な考え方」(全文)によると、新任務の対象地域を首都のジュバとその周辺に限定するとしています。また、実施計画には①南スー・ダン政

府の受け入れ同意が安定的に維持されている②紛争当事者間の停戦合意などPKOに向けた場合、武器を持って敷設する次期派遣部隊(第11次隊)の要員約350人で、南スー・ダンが「殺し、殺される」最初の例となる人は20日から順次現地に送られます。第10次隊と連絡員やNGO(非政府組織)関係者の要請を受

とが困難な場合は、「部隊を撤収する」とことを加えます。

り自衛隊員の安全が確保されるとの立場です。しかし、南スー・ダンでは2013年12月に大統領派と副大統領派との内戦が勃発して以降、武力による対立が深刻になりました。今年7月にはジュバで大規模な戦闘が起り、300人を超える死者が出るなど、治安が悪化。政府軍が国連施設を攻撃し、国連や援助関係者をレイブ、襲撃する事態も発生しています。



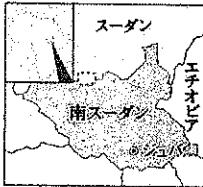
緊急抗議

総がかり行動実行委員会は15日前、閣議決定に反対して首相官邸前で緊急抗議をおこないました。→記事⑯面

自衛隊が新任務を実行すれば、政府軍との交戦も想定され、憲法が禁じる「海外での武力行使」につながる危険があります。

1/16 表紙

「戦争法ありき」の見切り発車



スルタン
南スルタン
エチオピア
チャド
南スルタン



▲国連施設内で巡回警備を行う国連南スルタン派遺団（UNMIS）の要員＝南スルタン・ジバ（国連提供）

南スルタン／PKOで新任務

「人の命に関わる決定が、あまりにも楽観的な認識でなされている」。15日、南スルタン／PKO（国連平和維持活動）での「駆け付け警護」なども新たな実施計画を閣議決定した安倍政権に対して、自衛隊の元幹部は怒りを隠しません。隊員の安全性を無視し、「戦争法ありき」の見切り発車です。

「平穏」の一方「撤収」

「自衛隊が開闢する箇所がジンバウアでは現地に在る比較的落着いている」政府が15日の閣議決定に伴って公表した文書「新任務付与に関する基本的な考え方」（全文5面）に示された情勢認識です。

南スルタンでは7月、首都ジンバウアで大統領派と副大統領派との激しい戦闘が発生、数百人が死亡し、国連施設1802棟も被弾。自衛隊も宿営地内に避難を余儀なくされるところ事態になりまし

た。国外逃亡したマハムル前副大統領は現在もジンバウア攻撃の可能性を否定していません。臨時国会でも、野党側から南スルタンの厳しい治安情勢を追及する質問が相次ぎました。しかし、政府は「貰

「警護」対象二転三転

て「ジンバウアは平穏」だという説明を繰り返し、新任務付与を強行しました。

書「新任務付与に関する基本的な考え方」（全文5面）に示された情勢認識です。

南スルタンでは7月、首都ジンバウアで大統領派と副大統領派との激しい戦

闘が発生、数百人が死亡し、国連施設1802棟も被弾。自衛隊も宿営地内に避難を余儀なくされるところ事態になりまし

た。国外逃亡したマハムル前副大統領は現在もジンバウア攻撃の可能性を否定していません。臨時国会でも、野党側から南スルタンの厳しい治安情勢を追及する質問が相次ぎました。しかし、政府は「貰

て「ジンバウアは平穏」だという説明を繰り返し、新任務付与を強行しました。

書「新任務付与に関する基本的な考え方」（全文5面）に示された情勢認識です。

南スルタンでは7月、首都ジンバウアで大統領派と副大統領派との激しい戦

闘が発生、数百人が死亡し、国連施設1802棟も被弾。自衛隊も宿営地内に避難を余儀なくされるところ事態になりまし

た。国外逃亡したマハムル前副大統領は現在もジンバウア攻撃の可能性を否定していません。臨時国会でも、野党側から南スルタンの厳しい治安情勢を追及する質問が相次ぎました。しかし、政府は「貰

つ「撤収」「安全」と言

つ「撤収」という選択

について明記したこと

る場合でも、「安全を確

保しつつ有意義な活動を

実施することが困難と認

められない（基本的な考

は「警護」）が満たされてい

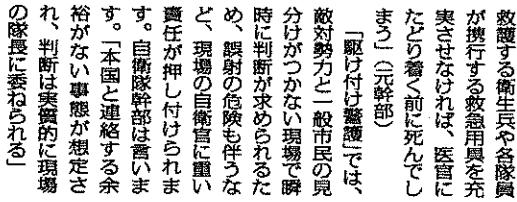
る場合）には「撤

收する」と明記しました。

自衛官危険にさらす



「駆け付け警護」で暴徒を追い払う訓練をする陸上自衛隊（岩手県漁港場）（岩手県漁港場）



「駆け付け警護」で暴徒を追い払う訓練をする陸上自衛隊（岩手県漁港場）（岩手県漁港場）

「駆け付け警護」などに従事している他の国連部隊に関する懇談会（安保「駆け付け警護」検討の法制度）での安価監視

一方、新たな実施計画で、紛争当事者間の停戦などの激しい交戦もありた。

では、紛争当事者間の停戦など「PKO参加」であるなら、ただちに撤

戻すべきですか。

「駆け付け警護」などは、他の国軍への加勢が

され、自衛隊が携行するのは「撃げ」ことではないはず

が、陸上自衛隊の元幹部は、「駆け付け警護」や宿舎構成に変化は見られず、現場の自衛官を危険にさらす」と指摘。

自衛隊が携行するのは「撃げ」ことではないはず

が、陸上自衛隊の元幹部は、「駆け付け警護」や宿舎構成に変化は見られず、現場の自衛官を危険にさらす」と指摘。

自衛隊が携行するには「撃げ」ことではないはず

が、陸上自衛隊の元幹部は、「駆け付け警護」や宿舎構成に変化は見られず、現場の自衛官を危険にさらす」と指摘。

自衛隊が携行するには「撃げ」ことではないはず

が、陸上自衛隊の元幹部は、「駆け付け警護」や宿舎構成に変化は見られず、現場の自衛官を危険にさらす」と指摘。

自衛隊が携行するには「撃げ」ことではないはず

が、陸上自衛隊の元幹部は、「駆け付け警護」や宿舎構成に変化は見られず、現場の自衛官を危険にさらす」と指摘。

「新任務付与取り下げを」NGO非戦ネットが声明

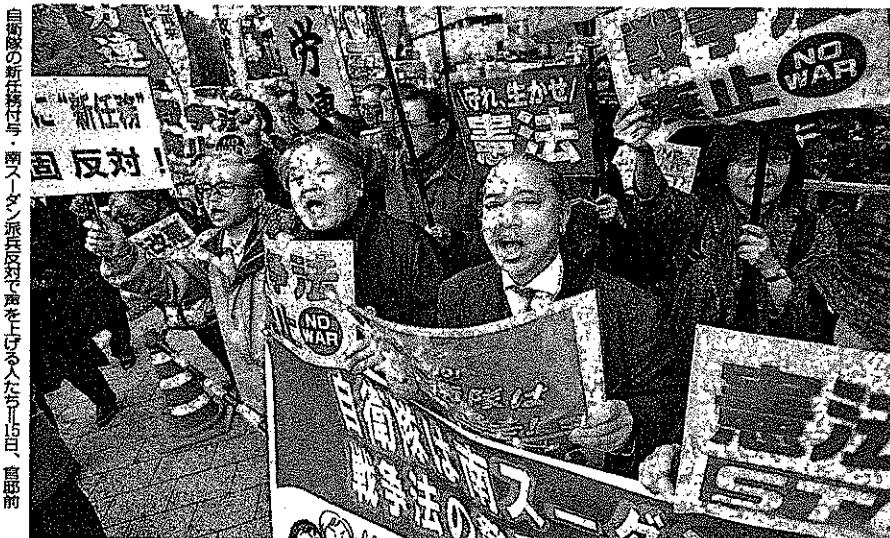
「駆け付け警護」では、敵対勢力と一般市民の見分けがつかない現場で瞬時に判断が求められるため、誤射の危険も伴うことがあります。自衛隊幹部は「いま、誤射の危険も伴うたる」（元幹部）

声明は、「政府に対する」▼南スルタンの紛争状況を直視すること／紛争状態での新任務遂行は憲法違反となりうる駆け付け警護を現地で活動するNGOは要請していない／民生支援などによって培ってきた日本への信頼を損なう」と指摘。「他国への平和的生存権を保障するとする憲法の前文と国際紛争を武力において解決しないという条の規定」を掲げ、「非戦事が日本の人道性を失かした和平に向けた平和憲章」をすべてだと訴えています。

非政府組織（NGO）のネットワーク「ZCIO非戦ネット」は14日、南スルタン／PKO（国連平和維持活動）に派遣される自衛隊が、陸上自衛隊を「駆け付け警護」することは想定されない（基本的な考え）が、陸上自衛隊を「駆け付け警護」する場合は「活動範囲では警護対象は活動範囲ではありません」（基本的な考え方）としており、陸上自衛隊は「駆け付け警護」する場合でも、「安全を確保しつつ有意義な活動を実施することが困難と認められる場合」には「撤

戦争法の発動止めよう

11/16
吉田



南スーダンへの駆けつけ難護に反対する署名を行う人たち=15日、東京・有楽町

総がかり行動実行委員会は15日、戦争法に基づき自衛隊の南スーダン派遣部隊に「駆けつけ難護」の新任務を付与する閣議決定を許さない旨の抗議行動を行いました。午前7時5分からの行動には350人（主催者発表）が参加。安倍政権に対し「戦争法の発動止めよう」「憲法改悪」の新任務を付与する閣議決定を許さない旨の抗議行動を行いました。

日本平和委員会は15日、南スーダンに派遣

南スーダンは内戦状態

平和委員会が抗議の宣伝

南スーダンは内戦状態であり、武器使用を許可する任務をもつて自衛隊が現地に行けば、殺される危険などあります。いまやるべきは、南スーダンから撤退です」と訴え、署名行動を行いました。

千坂総務局長は、閣議決定した安倍政権を批判。「現在、南スーダンは内戦状態であり、武器使用を許可する任務を行ければ、殺される危険などあります。いまやるべきは、南スーダンから撤退です」と訴え、署名行動を行いました。

日本平和委員会は、

南スーダン・自衛隊新任務付与早朝から官邸前で抗議

早朝から官邸前で抗議

絶対反対」との声を突きつけました。

法共同センターの長尾強行に「満身の怒りを込めて抗議の声をあげて」というと述べました。内戦状態の南スーダンへの派遣は、PKO原則が崩れており、武力行使を辞さないものだと指摘。「政府の行為によって命が

奪われる運動は、日本がいます」と訴えました。

19日午後2時からの

国連議会開幕行動などを提起した戦争をさ

せない1000人委員会の福山真効さん、戰

争法具体化阻止と廢止

一大署名運動、野党共

感の推進で安倍自公政

と行動して来てたと

いました。

日本共産党的高橋千鶴子、畠原君枝の両衆院議員、井吉士、岩

木進衆院の近藤昭一衆院

議員、社民党的福島瑞

江橋、近藤、福島の3

氏があいさつしました。

行動して来てたと

いました。

「人間と人間の殺し合

いを許せません。安倍

さんは命の重さがわから

らないのでじょうか」と話しました。

反対する運動は、日本がいます」と訴えました。

民主主義を守るために